

長崎女短大  
石崎ダイ

目的 資源の節約を目的とした家庭洗たくに關してはすでにオ1、2、3報に於て洗剤の濃度 浴比、すすぎ回数 脱水時間と含水率 酸通し等の効果について報告したが、今回は同一浴の繰返し洗浄性について 洗剤の種類 浴比の影響および変化について実験した結果を報告する

オ法 モメン人工汚染布の調製は前報の通りで反射率 $38 \pm 2\%$ のものを用いた 実験に供した洗剤は 粉石けん3種 合成洗剤3種 濃縮洗剤5種である。

洗浄条件 洗剤濃度：各洗剤の表示濃度 洗浄温度： $40 \pm 2^\circ\text{C}$  洗浄時間：20分  
 洗浄試験機：攪拌型洗浄試験機 浴比：1：80 1：45 1：30  
 すいぎ：3回 繰返し洗浄回数：4回迄 1：20

浴のPHは堀場PHメーターを用いて測定 洗浄効率は常法にしたがっておこなった。

結果 浴比1：80では同一浴で4回の繰返し洗浄も可能であるが 粉石けんを除く他の洗剤は2回目よりの洗浄力の低下が著しく 4回目では僅か10%前後の洗浄力である。粉石けんは3回までは僅かの低下で 4回目でも3回目より10%低くなっている。

浴比1：20では全体的に洗浄力は低く 粉石けん以外は繰返し洗浄は無理のようである。粉石けんも種類によつて洗浄性はことなり 合成洗剤と差のないものもある。濃縮洗剤の洗浄性についても報告する。